

八女市国民健康保険
第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）
（第4期特定健康診査等実施計画）
【概要版】
令和6年度～令和11年度



計画策定の背景

八女市国民健康保険の被保険者を対象にして、健康・医療情報等を分析、健康課題を抽出し、これに基づいた保健事業を計画実施することにより、被保険者の健康意識の向上と健康寿命の延伸、ひいては医療費の適正化を図ることを目的とします。

計画期間

計画期間は、令和6年度（2024年度）から令和11年度（2029年度）までの6年間です。

第1期（2015年度～2017年度）

第2期（2018年度～2023年度）

第3期（2024年度～2029年度）

データヘルス計画の位置づけ

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者等が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診等の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものです。

計画は、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、都道府県健康増進計画や市町村健康増進計画、都道府県医療費適正化計画、介護保険事業（支援）計画、高齢者保健事業の実施計画、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画それぞれの計画と整合性を図ります。

また、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健診及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めるものであることから、保健事業実施計画（データヘルス計画）と一体的に策定します。

実施体制と関係者連携

計画の遂行に当たっては、国保部局（健康推進課国民健康保険係）が中心となって、保健衛生部局（健康推進課保健指導係）等住民の健康の保持増進に関係する部局に協力を求め、保険者の健康課題を分析し、本市一体となって事業を推進します。

具体的には、高齢者医療部局及び介護保険部局（介護長寿課）、企画部局（企画政策課）、生活保護部局（福祉課）とも十分に連携を図りながら事業を推進します。



第3期八女市データヘルス計画

厚生労働省 健康局
「標準的な健診・保健指導プログラム
令和6年度版」 図1 改変

— 特定健診・保健指導のメリットを活かし、健康日本21(第三次)を着実に推進 —

1 社会保障費の安定

国保被保険者 ※1

	H30年度		R4年度	
	実数	割合	実数(人)	割合(%)
被保険者数	17,958		16,125	
65～74歳	7,102	39.5	6,873	42.6
40～64歳	6,233	34.7	5,315	33.0
39歳以下	4,623	25.7	3,937	24.4
加入率	27.9		26.9	

国保の医療費 ※2

	八女市		同規模	福岡県	全国	
	H30年度	R4年度	R4年度	R4年度	R4年度	
総医療費	60億9170万円	59億7284万円	--	--	--	
一人あたり医療費(円)	340,318 県内41位	370,409 県内35位	366,294	365,001	378,638	
入院	一件あたり費用額(円)	537,120	616,810	610,160	599,760	617,950
	費用の割合	45.6	43.5	40.5	43.9	39.6
	件数の割合	3.1	2.7	2.7	2.9	2.5
外来	一件あたり費用額	20,390	22,240	24,470	22,510	24,220
	費用の割合	54.4	56.5	59.5	56.1	60.4
	件数の割合	96.9	97.3	97.3	97.1	97.5

特定健診・特定保健指導の実施率の向上

データの分析

未受診者への
受診勧奨

地域・職域のメリット

- 重症化が予防できる
- 医療費の伸びを抑制できる

個人のメリット

- 重症化が予防できる
- 死亡が回避できる

健康のための資源
(受診の機会、治療の機会)
の公平性の確保

3

メタリックシンドローム
該当者・予備群の減少 ※4

2 特定健診等の実施率 ※3

	実績		目標	
	平成30年度	令和4年度	令和8年度	令和11年度
特定健診受診率	43.0%	40.2%	52.0%	60%以上
県内順位	13位	(21位)		
特定保健指導実施率	73.6%	85.9%	86.0%	88.0%
県内順位	17位	(3位)		

	年度	メタボ 予備群割合	メタボ 該当者割合
		実績	目標
実績	平成30年度	11.2%	14.4%
	令和4年度	10.6%	16.3%
目標	令和8年度	10.3%	15.0%
	令和11年度	10.0%	14.5%

4

短期目標

高血圧の改善 ※5

	特定健診結果(血圧)	
	年度	血圧 160/100以上
実績	平成30年度	3.9%
	令和4年度	4.7%
目標	令和8年度	4.3%
	令和11年度	3.9%

脂質異常症の減少 ※6

	特定健診結果(脂質)	
	年度	LDL 160mg/dl以上
実績	平成30年度	4.2%
	令和4年度	2.8%
目標	令和8年度	2.7%
	令和11年度	2.6%

糖尿病の減少 ※7

	特定健診結果(血糖)		
	年度	HbA1c 7.0%以上	再掲) HbAc8.0%以上
実績	平成30年度	3.7%	1.0%
	令和4年度	3.9%	1.0%
目標	令和8年度	3.8%	1.0%
	令和11年度	3.7%	0.9%

5

中長期目標

脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎不全(透析有)の 総医療費に占める割合の維持 ※8

中長期 目標 疾患		実績		目標	
		H30年度	R4年度	R8年度	R11年度
		脳	脳梗塞・脳出血	2.54%	1.79%
心	狭心症・心筋梗塞	1.33%	0.96%	1.00%	1.00%
腎	慢性腎不全(透析有)	2.31%	2.46%	2.40%	2.40%

糖尿病の合併症の減少 ※9

	実績		目標	
	H30年度	R4年度	R8年度	R11年度
糖尿病性腎症による 透析導入者の割合の減少	22.4%	32.6%	32.0%	30.0%
	実績		目標	
	H30年度	R4年度	R8年度	R11年度
新規人工透析患者数 (再掲)糖尿病性腎症あり	4人	6人		
糖尿病性腎症による 新規透析導入者の割合の減少	25.0%	66.7%	32.0%	30.0%

6

健康寿命の延伸 ※10

R4年度	平均寿命(歳)		健康寿命(歳)	
	男性	女性	男性	女性
八女市	80.6	87.1	79.1	84.0
福岡県	80.7	87.2	80.1	84.6
全国	80.8	87.0	80.1	84.4

出典

※1 KDBシステム__人口及び被保険者の状況
健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

※2 ヘルスサポートラボツール

※3・4 特定健診 法定報告

※5～7 ヘルスサポートラボツール

※8 KDBシステム__健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

※9 KDBシステム__介入支援対象者一覧(栄養・重症化予防等)
保健事業等評価・分析システム:新規患者数

※10 KDBシステム__地域全体像の把握

これからの計画目標(令和6年度～令和11年度)

計画目標

○特定健康診査・特定保健指導

目的：健診を受診することで生活習慣病を早期に発見し、重症化を予防します。

保健指導により生活習慣を見つめ直し、生活習慣病発症を予防します。

取組：健診の受診勧奨を行い、受診率の向上を目指します。

保健指導対象者に対し、保健師や管理栄養士等の専門職が健康管理のための支援をします。

	計画策定時実績	目標値		
	R4年度	R6年度	R8年度	R11年度
特定健診受診率	40.2%	46%	52%	60%
特定保健指導実施率	85.9%	86%	86%	88%



○個別保健事業

1 肥満・メタボリックシンドローム重症化予防

目的：生活習慣病の発症や重症化を予防します。

取組：保健指導対象者に対し、保健師や管理栄養士等が生活習慣病予防のための支援をします。

	計画策定時実績	目標値		
	R4年度	R6年度	R8年度	R11年度
メタボリックシンドローム該当者割合の減少	16.3%	16.0%	15.0%	14.5%
特定保健指導対象者の減少率	17.4%	18.0%	19.0%	22.0%



2 生活習慣病重症化予防

目的：脳血管疾患や虚血性心疾患、腎不全のリスクとなる糖尿病や高血圧等の生活習慣病の重症化を予防します。

取組：保健指導対象者が、自分自身の健康課題に気づき生活習慣の改善ができるよう、また適切な治療継続ができるよう支援します。

	計画策定時実績	目標値		
	R4年度	R6年度	R8年度	R11年度
未治療者の受療率	47.3%	50.0%	55.0%	60.5%
次年度健診結果改善率	44.5%	45.0%	46.0%	47.5%

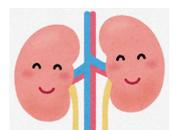


3 糖尿病性腎症重症化予防

目的：腎不全(人工透析)の原因となる糖尿病性腎症の発症を予防します。

取組：対象者が適切な治療を継続でき、主治医と連携して人工透析への移行を防止するための支援を行います。

	計画策定時実績	目標値		
	R4年度	R6年度	R8年度	R11年度
次年度健診結果改善率	42.2%	43.0%	44.0%	45.5%



※ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業や地域包括ケアシステムについても深化・推進していきます。